

2023(令和5)事業年度

決 算 報 告 書



## 2023(令和5年)事業年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学  
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,498	3,514	16	(注1)
施設整備費補助金	438	398	△ 40	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	71	91	20	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	5	15	10	(注4)
自己収入	632	622	△ 10	
授業料、入学金及び検定料収入	597	581	△ 16	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	35	41	6	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	114	178	64	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	178	172	△ 6	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	4,936	4,992	56	
支出				
業務費	4,331	3,979	△ 352	(注9)
教育研究経費	4,331	3,979	△ 352	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	443	413	△ 30	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	48	64	16	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	114	176	62	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	4,936	4,632	△ 304	
収入-支出	-	360	360	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として、光熱費等の物価変動への対応分として教育・研究基盤維持経費の予算追加配分されたこと、当初予算内示後の学生支援に係る予算が増額されたこと等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として、計画変更に伴い、予算額に比して決算額が40百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が26百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、当初予算段階で予定していなかった教員講習開設事業費等補助金をはじめとする各種補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が20百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、年度計画作成時に想定していた見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として、入学者及び入学志願者の減少等により、入学金及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として、免許法認定講習料が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、独立行政法人からの受託事業の受入、並びに、鳴門教育大学基金及び附属学校に係る寄附金受入が増加したため、予算額に比して決算額が64百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が352百万円少額となっています。
- (注10) (注2)及び(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。また、決算額176百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額5百万円を含んでおりません。